

## 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第4回検討会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和3年10月8日（金）午後6時15分から午後7時15分まで
  - 2 開催場所 グリーンカレッジホール 3階 教室1
  - 3 出席者 検討会委員 26名 【欠席者1名】  
傍聴 16名  
学校配置調整担当課長、新しい学校づくり課長  
新しい学校づくり課学校配置調整第一係係長  
新しい学校づくり課学校配置調整第二係係長  
新しい学校づくり課学校計画・改修係係長  
新しい学校づくり課職員2名  
株式会社松田平田設計2名
- 

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、マスクの着用や検温、手指の消毒、会場の換気を行うなどの取組を実施した。

- 1 開会
- 2 検討会会長 挨拶
- 3 新規委員紹介【資料1及び資料2】  
前回の第3回検討会において、新規委員として小学校の通学区域変更検討区域の学校関係者を交え、意見交換を行うことで決定した。  
第3回通学区域・通学路作業部会から、北前野小と志村坂下小の各学校長とPTA代表者の計4名が新規委員となったため、委員の紹介を実施した。
- 4 基本構想・基本計画の策定について  
基本構想・基本計画の策定支援受託事業者の紹介を行った。また、事業者より、基本構想・基本計画の策定に向けた今後のスケジュールの案について説明を行った。
- 5 検討事項（主な意見・質問に対する事務局の回答等）
  - (1) 第3回通学区域・通学路作業部会の報告について【資料3及び別紙①、別紙②】  
※説明に対する意見・質問はなし。  
小学校の通学区域の方向性としては、別紙②の変更後を案としたうえで首都高側に門を設置するということでまとまった。

会 長：小学校の通学区域については、別紙②の「変更後」の案を検討会の方

向性として進めていく。

なお、この変更案で確定したという訳ではなく、今後教育委員会の中でも、検討していく。

(2) 学校の伝統・歴史の保存について【資料4】

委員：志村小の保存品で、昔の道具類（火鉢、ラジオ、電話等）があるが、記念品として保管するよりは、道具として使用した方がいいのではないかと思う。

委員：小学校の社会科の授業では、昔の道具を実際に見たり、体験したりする活動がある。昔の道具類は、その資料として、3階の資料室に入っている。

委員：保存方法として、記念室か記念コーナーのどちらかになるのか。例えば、面積をたくさん取ってほしいという訳ではないが、記念室と記念コーナーの両方を設けるということはできないか。

また、昔の道具類は、授業の教材として利用するのが良いと思う。

委員：小学校と中学校では必要となる部屋の性質が異なると思う。小学校の場合は、学習のために、昔の道具類がある資料室のような部屋は必要だと思う。しかし、中学校の場合は、不登校対策の相談室等の重要度が増してくると思う。もし、中学校でも必要があれば、小学校の資料室を共用利用できればいいのではないか。

必ずしも記念品の保存方法については、記念室か記念コーナーに小学校と中学校で揃える必要はないと思う。

委員：校舎外の記念樹は、移植できるのか。また、記念樹を移植すると校庭も限られてくると思うので、スペースについても考慮して、残すものと残さないものを考えないといけないと思う。

事務局：樹木の移植が可能かどうかについては、木の種類や状態によって異なると思うので、今後確認していく。

また、校庭も含め、スペースについては考えていく必要があるので、何を残していくか優先順位をつける必要がある。

委員：記念室や記念コーナーではなくて、志村小や志村四中で使用していたものを新しい校舎の一部に利用することはできないか。志村四中の卒業生の立場としては、学校に行った時に、そのまま残っていたり、使われていたりするものがあると嬉しいと思う。

委員：百年以上の歴史がある小学校なので、懐かしいものがあれば残していきたいという気持ちがあると思う。しかし、全てを保管することは難しいので、ある程度線を引く必要があるのではないか。また、教育委

員会と相談しながら、P T A等で決めた方がいいのではないかと思います。  
事務局：おっしゃるとおり、記念品の全てを残していくのは難しいので、ある程度線を引いていく必要があると考える。志村小の歴史や伝統を大事にしつつ、他の学校も参考にしながら、考えていきたい。

委員：板橋区の教育の方針に、地域のアイデンティティを育むというのがあると思う。他の委員が発言していたように、全てを保管することは難しいと思う。そのため、志村の土地には素晴らしい歴史があるので、その歴史が伝わるような物語を作って、展示するのはどうか。何かを「残す」というよりは、前向きな未来のエネルギーになるようなストーリーを「つくる」という形で検討していったらどうかと思う。

委員：昨年度、協議会で高円寺学園に視察に行った時に感じたことだが、高円寺学園には記念コーナーがあるが、子どもたちは記念品等に興味を示さないのではないかと思います。

私の意見としては、例えば、志村小の記念樹と記載した札を建てたうえで、泰山木や110周年記念樹等を1本残す等、代表的で本当に記念になるような物を1つか2つ、展示するのが良いと思う。

会長：保存品の利用や記念品を物語的に展示するといったものまで様々な意見を頂いた。

志村の土地の歴史が分かるような物語を作って展示するという意見があったが、板橋区の教育委員会でも、板橋区の小中一貫教育カリキュラムとして「板橋のi（あい）カリキュラム」を作成し、そのカリキュラムの1つである「郷土愛の育成」を通して、板橋を語れる子どもを育てるといったものがある。

記念室か記念コーナーについて検討しているが、記念室等のイメージがあまり湧かないと思うので、現在ある記念室・記念コーナーの写真を資料として提示することを考えている。

今後、委員のみなさんの意見をうかがいながら、引き続き検討していきたい。

## 6 事務局からの事務連絡

次回の検討会の開催日時について

## 7 次回予定

### 第5回検討会

日時：令和3年12月中旬（予定）

場所：未定

場所については、志村四中を基本に考えているが、新型コロナウイルス感染防止対策等の観点から、施設の空き状況によって志村四中以外の場所を会場として設定する場合もあることを説明した。

※第5回検討会については、改めて日時と会場を調整し、通知する。